

2017年3月期 連結決算ハイライト (IFRS)

■ 営業活動に係る利益は増益、当期純利益は減益

◇ 営業活動に係る利益 **226 億円** **20.6% 増益**
 ◇ 当社株主に帰属する当期純利益 **80 億円** **△10.2% 減益**

■ 自己資本は1,000億円超へ

損益の状況						
(単位:億円)	2016/3期	2017/3期	前期比		2018/3期 見通し	
	通期	通期	増減額	増減率	見通し	前期比増減率
収益	6,684	6,756	72	1.1%	7,000	3.6%
売上総利益	862	1,001	139	16.1%	-	-
販売費・一般管理費	△ 686	△ 762	△ 76	-	-	-
その他の収益・費用	11	△ 13	△ 25	-	-	-
営業活動に係る利益	188	226	39	20.6%	250	10.5%
利息収支	△ 19	△ 19	0	-	-	-
受取配当金	9	11	2	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 3	△ 20	△ 17	-	-	-
金融収益・費用	△ 13	△ 28	△ 14	-	-	-
持分法による投資損益	7	△ 20	△ 27	-	-	-
税引前利益	181	179	△ 2	△1.4%	235	31.5%
法人所得税費用	△ 73	△ 76	△ 3	-	-	-
当期純利益	108	103	△ 5	△4.8%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期純利益	90	80	△ 9	△10.2%	120	49.1%
1株当たり利益 (円)	21.29	19.13	△ 2.16	△10.1%	28.52	49.1%

【収益】
電子・デバイスセグメントが牽引し、72億円の増収。

【営業活動に係る利益】
電子・デバイス及び食料セグメントを中心に、39億円の増益。

【親会社所有者に帰属する当期純利益】
その他の金融費用の増加、持分法による投資損益の悪化、税金費用の増加等により、9億円の減益。

資産・負債及び純資産の状況				
(単位:億円)	2016/3末	2017/3末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	4,436	4,797	361	8.1%
グロス有利子負債	1,369	1,338	△ 30	△2.2%
ネット有利子負債	488	554	66	13.6%
自己資本 (注1)	916	1,004	88	9.6%
内、利益剰余金	291	346	55	18.8%
内、その他の資本の構成要素合計	85	114	29	34.5%
自己資本比率 (注2)	20.6%	20.9%	0.3pt上昇	-
ネットDER (注3)	0.53倍	0.55倍	ほぼ横這い	-

【有利子負債】
ネット有利子負債は投資資金の増加等で66億円の増加。

【自己資本】
自己資本(資本の「当社株主に帰属する持分」)は、利益剰余金の積上げや株価上昇等によるその他の資本の構成要素の増加により、88億円増加。

上記の結果、自己資本比率は20.9%。
ネットDERは0.55倍。

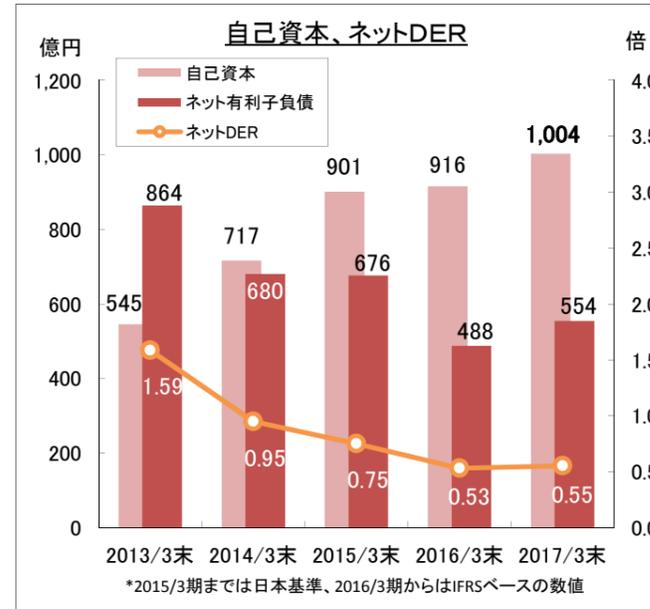
(注1)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」 (注2)自己資本比率=自己資本/総資産 (注3)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況			配当の状況	
(単位:億円)	2016/3期	2017/3期	2017/3期	
	通期	通期	中間配当	期末配当(予定)
営業活動によるCF	330	119	1株当たり 3.0 円	1株当たり 3.0 円
投資活動によるCF	△ 42	△ 147	年間配当(予定)	1株当たり 6.0 円
フリーキャッシュフロー	288	△ 28	【2018/3期】	
財務活動によるCF	△ 67	△ 69	中間配当(予想)	1株当たり 3.5 円
現金・現金同等物の増減	221	△ 97	期末配当(予想)	1株当たり 3.5 円
			年間配当(予想)	1株当たり 7.0 円

【営業活動によるCF】
営業収入の積上げ等により、119億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】
㈱ダイヤモンドテレコムの買収資金等により、147億円のキャッシュ・アウト。

【財務活動によるCF】
配当金の支払や借入金の返済等により、69億円のキャッシュ・アウト。



セグメント情報						
(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2016/3期	2017/3期	前年同期比	2016/3期	2017/3期	前年同期比
	通期	通期	増減	通期	通期	増減
電子・デバイス	2,350	2,543	193	107	143	37
食料	2,226	2,278	52	14	25	11
鉄鋼・素材・プラント	1,353	1,312	△ 41	34	28	△ 6
車両・航空	638	504	△ 134	30	22	△ 7
報告セグメント合計	6,567	6,637	70	184	219	34
その他(含む調整額)	117	119	2	3	8	4
総合計	6,684	6,756	72	188	226	39

【電子・デバイス】 増収増益
ICTソリューション事業は製造業向け取引を中心に好調に推移。モバイル事業は年度後半の市況回復を受け堅調。半導体部品事業は苦戦。

【食料】 増収増益
食品事業は堅調に推移。畜産事業は市況の回復を受け前年度の落ち込みから回復。食糧事業は国内販売価格の下落により苦戦。

【鉄鋼・素材・プラント】 減収減益
エネルギー事業は冬場の堅調な灯油・重油需要により順調に推移。プラント事業は工作機械・産業機械関連取引が堅調。鉄鋼事業は原油価格の低迷により主力の油井管事業が苦戦。

【車両・航空】 減収減益
車両・車載部品事業は順調に推移。航空宇宙事業は航空機部品取引が端境期のため減益。

* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。